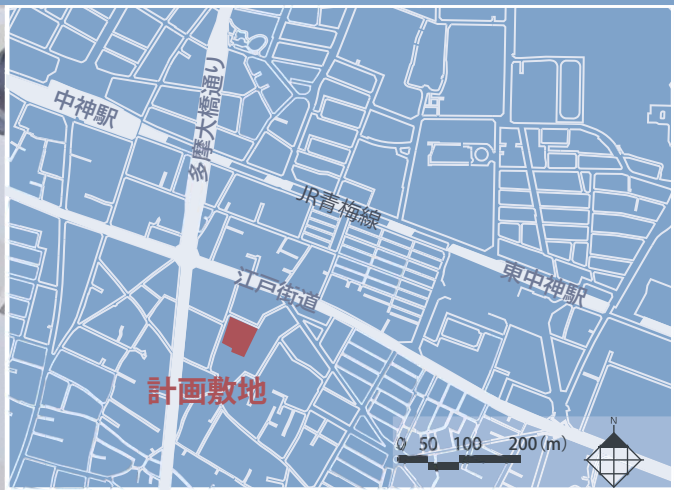




市内における施設の位置付け

新たな拠点となる本施設は、既存施設である市民交流センターの交流機能を継承した上で、市の東部に点在している複数の施設を複合化して機能を集約することで、様々な人に交流の場を提供するとともに、一元化された行政サービスを行うことができる「交流拠点」として整備します。

交流によって人と人がつながり、施設の継続的利用によって人と人の環がひろがり、施設での交流や経験によって人と人の絆が深まることを目指し、本施設を中心とした「居場所」を創出します。



物件名 市民総合交流拠点施設

所在地 東京都昭島市玉川町四丁目3 2 番 1 ほか 2 筆
建築主 昭島市

■設計
建築 株式会社環境デザイン研究所
構造 有限会社 金箱構造設計事務所
設備 株式会社 システムプランニングコーポレーション

■建築概要

主要機能 貸室・相談室、東部出張所、図書館分館、東部地域包括支援センター、商工会・勤労市民共済会、カフェ、防災倉庫

敷地面積 2277.43㎡
建築面積 905.16㎡
延床面積 2066.71㎡
構造 鉄筋コンクリート造 及び 一部鉄骨造 基礎免震構造
規模 地上3階



市民総合交流拠点施設 設計概要

設計期間 令和3年（2021年）11月～令和5年（2023年）8月
工事期間 令和5年（2023年）12月～令和7年（2025年）8月

安全で安心な施設

免震構造と長寿命化

計画地は浸水想定区域外（水害対策）にあり、計画建物は低層（風害対策）のため、地震対策を中心に検討しました。加えて、本施設を東部の防災拠点として位置付けていることから、施設の機能維持が重要であることも考慮に入れ、免震構造を採用しました。構造形式は、空間の可変性が高く平面計画の自由度が高い構造壁のないラーメン構造を計画しています。

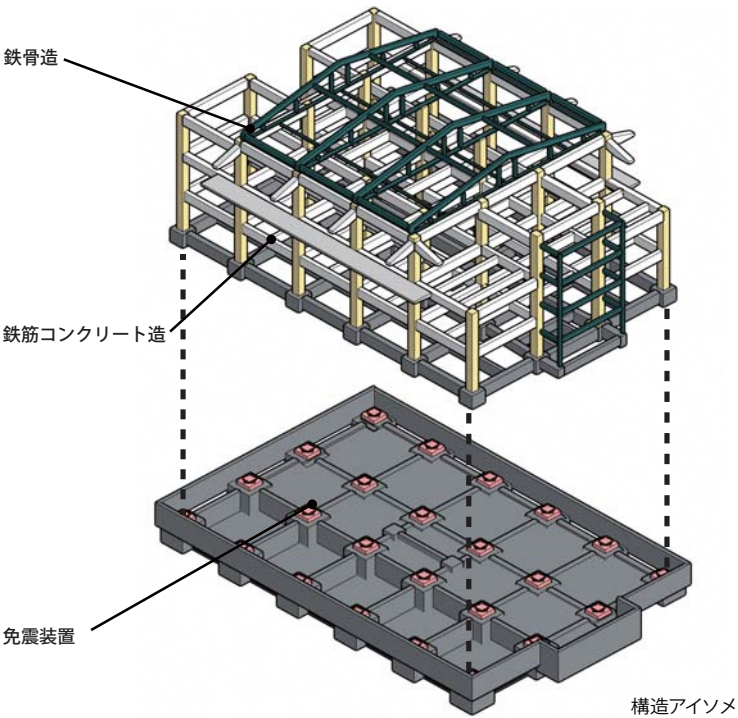
なお、免震構造は地震エネルギーの影響を受けにくいため、建物の長寿命化にもつながります。

・架構計画

左右対称の架構に加え、柱間隔を均一化することで、構造体にかかる力を全体的に分散した架構計画にしています。局所的な負担を避けることにより、躯体劣化の軽減を図ります。

・一部鉄骨造の採用

3階貸室を大空間にするため、屋根を軽量化して柱間隔を広げ、構造の合理化を図ります。また、躯体用防水に比べ耐用年数の長い金属屋根にすることで、施設の更新性向上につながります。構造合理化と更新性向上を考慮した結果、一部に鉄骨造を採用しました。



可変性のある施設

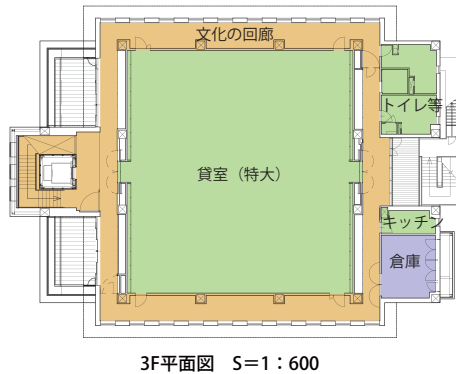
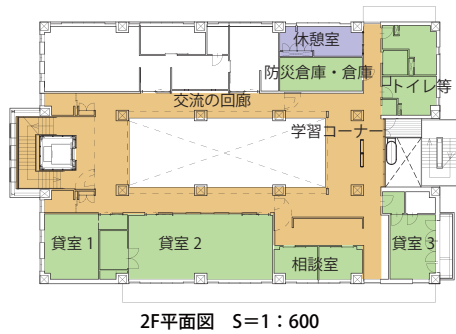
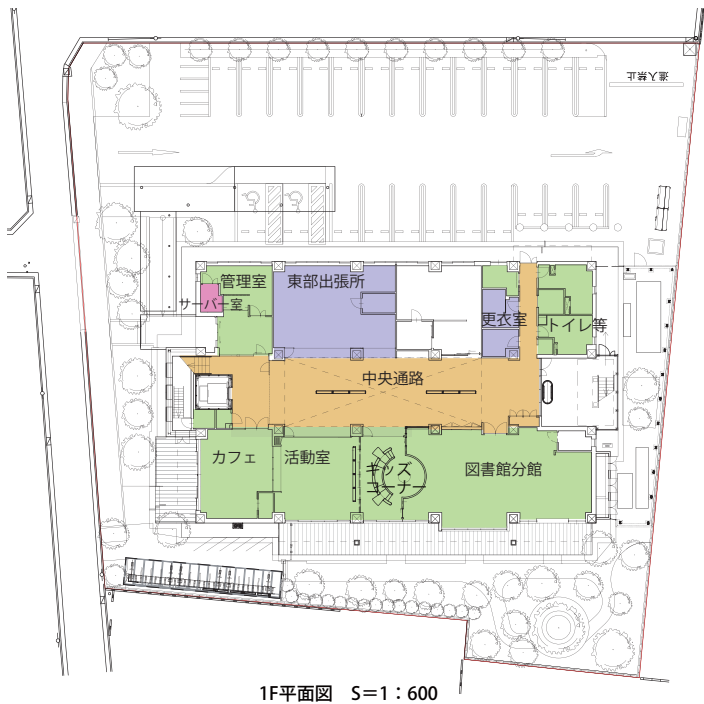
避難所機能

災害時には貸室等を避難所に機能転換して対応します。ライフライン寸断の対策として、受水槽・自家発電設備等により3日分のライフラインを確保しています。

市役所本庁舎が被災し立ち入ることが出来ない場合は、本施設が災害対策本部の代替施設として役割を担います。また、市役所本庁舎に支障がない場合においては、東部地域の防災拠点として機能する計画にしています。

通常時の諸室	災害時の機能転換	収容人数 (想定)
中央通路、活動室	災害対策本部の代替施設	
東部出張所、図書館分館	職員待機場所	
カフェ、学習コーナー	配給スペース	
相談室	救護室	
活動室	居住スペース	24人
貸室 1～3	居住スペース	57人
貸室（特大）	居住スペース	191人

・災害時自家発電機による電力供給



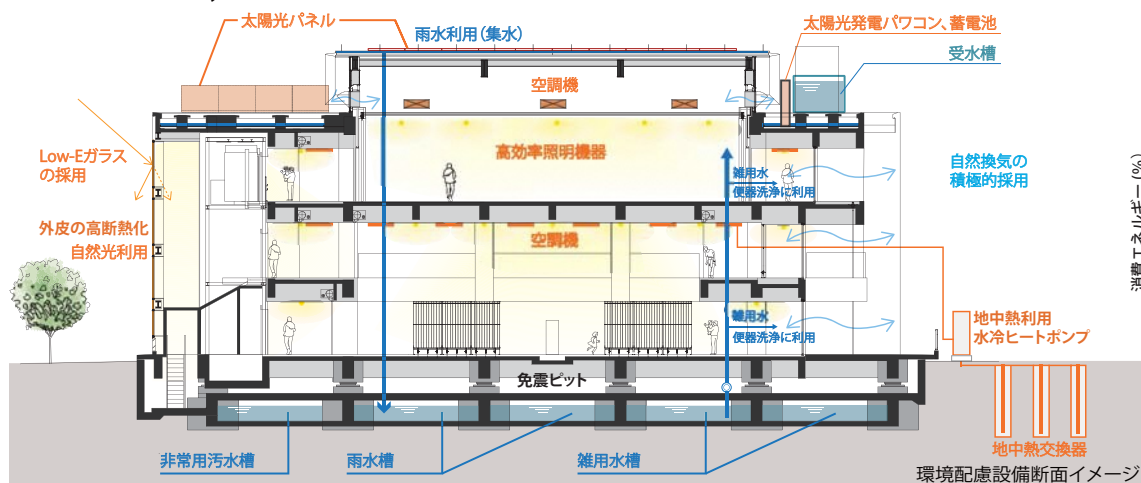
<凡例>

電灯+コンセント 発電機電源100%
電灯+コンセント 発電機電源50%
電灯+コンセント 発電機電源30%
電灯+蓄電池コンセント (電灯割合30%程度)

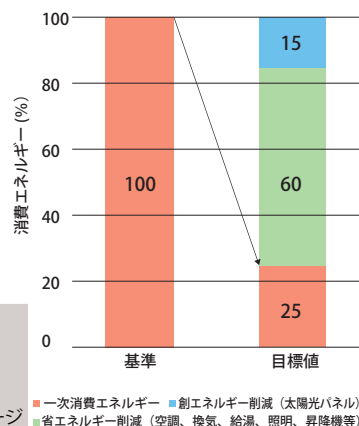
環境に配慮した施設

Nearly ZEB を目標設定

「2030 年カーボン 25 (2030 年までに市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量 75% 削減)」の実現に向けて、建築物におけるエネルギー負荷の低減、設備の効率化による「省エネルギー」と、再生可能エネルギー導入による「創エネルギー」により、一次エネルギー消費量を 75% 以上削減する NearlyZEB を目標とした環境に配慮した施設を目指します。



Nearly ZEB 取得省エネ削減目標値



創エネルギー

- 再生可能エネルギーの導入
屋根に設置した太陽光パネルによりエネルギー創出

ZEB のみえる化

- 太陽光と地中熱のデータ収集・可視化用モニターを設置
- 環境に配慮した取組を発信

省エネルギー

- 外皮性能の向上による負荷の抑制
Low-E ガラスの採用、庇などによる熱負荷の抑制 など
- 自然エネルギー利用
自然光による採光、自然換気、地中熱利用、雨水の積極的活用
- 設備システムの高効率化
高効率照明の採用、高効率変圧器による電力損失の最小化

こどもを中心とした居場所

キッズコーナー

こども達が落ち着いて本を読むよう児童書コーナーを設置しました。その周囲には遊具があり、回遊して遊ぶこともできます。



キッズコーナーイメージ

こどもエレベーター

東側の屋外階段の近くには、1 階から 2 階まで続く昇降ネット遊具を設置しました。安全性が確保された空間で、こども達は自由に遊ぶことができます。



こどもエレベーターイメージ



観賞と散策の庭

花咲く樹木や草花を中心に植栽を計画し、季節の変化に合わせて色彩豊かな風景を演出することができます。また、サークルベンチを設置して、訪れる人々が心地よいひとときを楽しむことができる空間を提供します。